

平成26年度第2回常総市公共交通活性化協議会 会議要旨

■開催

平成26年6月25日（水）午前10:00～11:15 常総市石下総合福祉センター 研修室

■出席

委員：吉田委員，秋場委員，大貫委員，沼尻委員，◎鈴木委員（筑波大学），野上委員（茨城運輸支局），山浦委員（県交通対策室），五島委員（常総警察署），青木委員（関東鉄道），松村委員（三妻タクシー），根本委員（関鉄労組），中川委員（商工会），横張委員（社会福祉協議会），石塚委員（市社会福祉課長），古谷委員（市介護長寿課長）

※◎：委員長

事務局：市企画課 長妻課長，森田係長，金子主事（記録者）

■内容

報告第1号 予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

報告第2号 ふれあい号利用者アンケート実施結果について

報告第3号 デマンド交通システム構築業者選定の結果について

報告第4号 平成25年度事業報告について

認定第1号 平成25年度歳入歳出決算報告について

議案第1号 平成26年度事業計画（案）について

議案第2号 平成26年度歳入歳出予算（案）について

議案第3号 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金・地域内フィーダー系統
確保維持計画の認定について

その他 常総市と筑波大学との共同研究の都市調査研究グランプリにおける最優秀賞の受賞に
ついて

高齢者外出支援事業の実績について

読売新聞への投書について

■協議内容（◆：議長，●：委員，▲：事務局）

開会 午前10:00

【前回のおさらい】

▲：前回の会議内容を説明。

<議案>

- ・常総市公共交通活性化協議会委員の委嘱について
- ・デマンド交通システム構築業者の決定について

【報告第1号】

- ▲：「予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について」説明。
- ◆：10万人突破のイベントはどうか。
- ▲：昨年からは出ていたが、単発でも広報効果があるかと思うが、時期的に一緒に開催される市のイベントがなく、アイデアに煮詰まっているところ。来年度、筑波大学の芸術系と協力して、親しみやすいマグネットのデザインなどもできればと考えている。新規登録者の確保が重要と考えている。
- ：他市町村の乗合タクシーの場合、予約のお断り件数をいかに減らすかに苦勞されているようだが、常総市の場合いかがか。
- ▲：資料としては用意していないが、一日当たり10件程度、少なくて3～4件程度。1割程度なので、そこまで多くないと認識している。しかし、予約をしてからのキャンセルする数が多い。他の方にはキャンセルの状況がわからないので、利用者も伸び悩んでいる一因かもしれない。
- ◆：予約状況が利用者にリアルタイムでわかるようになると良いが、そこまで整備するのはすぐには難しい。先進的などころでは、車両の位置も含めてやっているところもある。良いアイデアがあれば、引き続き検討していただきたい。
- ▲：システム整備となるとなかなか難しいが、病院のリアルタイム予約システムのようなものもあるので、引き続き検討していきたい。
- ◆：月曜日の利用が少ないようだが、これは公共施設の休館日が影響している。また、天気との関係もあって、雨の日は利用が少なくなることもある。雨の日はドア・ツー・ドアが求められるため、常総線の利用が減り、デマンド利用が増えるということもあるようだ。筑波大学でデータをいただいて分析しているが、そういったことがわかってきた。こういったことをヒントに、新たな利用促進策を事務局とともに考えていければと考えている。
- ：キャンセルの原因は病院が多いのか。
- ▲：とりあえず予約を取っているケースが多い。
- ：社会福祉協議会で、オペレーターの管理を担当している者です。慣れていない人は、とりあえず予約を取っておくという方が多い。結果的に用事がなくなってキャンセルする。次に多いのは、病院に行くと、知り合いの車に相乗りして、帰ってしまうケースが多い。
- ：キャンセルする人はその理由は言うのか。
- ：キャンセルのペナルティもないので、オペレーターには言っているようだが、記録まではしていない。そのため、他の方が利用できないという状況になっている。
- ：簡単にキャンセルしてしまうのではないかと思う。配慮しつつオペレーターから言ってもらった方がよいかもしれない。
- ◆：出来る限り、聞ける範囲で聞いた方が、今後の改善に向けてデータを取った方がよいかもしれない。

キャンセルも記録として残る形になるかはシステム業者に確認してもらった方がよい。

【報告第2号】

- ▲：「ふれあい号利用者アンケート実施結果について」説明。
- ◆：販売場所が少ない，予約への負担の具体的な内容は。
- ▲：記述式のまとめに記載しているが，車内での販売やコンビニでの販売の希望があった。手数料の問題もあるので，引き続き検討していきたい。高齢者の教室等での出張販売もできれば。
3日前の予約，直前の予約が取りづらいので負担に感じるのかもしれない。希望日に合わない，電話がつながりづらいといった意見も多い。
- ：予約がとりづらいのか。
- ▲：電話が3回線があるが，月曜日の午前中は電話が多く，かかりづらいこともあるかもしれない。
- ◆：オペレーターの入力する時間が短くなれば，増えるかもしれない。

【報告第3号】

- ▲：「デマンド交通システム構築事業者選定の結果について」説明。
- ◆：特に新しく変わることはないと考えてよいか。
- ▲：一番大きく変わるのは，配車業務の自動化の部分。オペレーターの業務軽減が可能。電話を受ける時間が増えると考えている。
- ：自動で予約ができるということは，利用者側はわかりづらくなるか。
- ▲：予約する人が自動になるということではなく，配車を自動で出来るということ。利用者にとって利用方法が変わることはない。

【報告第4号】

- ▲：「平成25年度事業報告について」説明。
- ◆：今年は，ヒアリングは行わないのか。
- ▲：常総市の公共交通をより良くするため，近隣の自治体へは伺いたいと考えている。

【認定第1号】

- ▲：「平成25年度歳入歳出決算報告について」説明。
- ：歳出の部の合計の数値は修正ということか。あと，歳入の部の「2補助金」の地域公共交通確保維持改善事業費補助金は，事業者へ振り込まれるものと理解しているが，それを改めて協議会へ戻してもらっているのか。5円単位での運賃を設定しているのか。
- ▲：お見込のとおり。補助金については，毎月事業者へ車両借り上げ料を支払っているため，補助金を事業者から協議会へ戻してもらっている。運賃については，これから説明する高齢者外出支援事業の際に，250円を実施した際に，半分の券が残ってしまった人への対応として，半券と125円

で250円として利用できるようにしたため、端数になっている。

●：承認。

【議案第1号】

▲：「平成26年度事業計画（案）について」説明。

●：承認。

【議案第2号】

▲：「平成26年度歳入歳出予算（案）について」説明。

●：承認。

【議案第3号】

▲：「平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金・地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について」説明。

◆：提出はいつごろか。

▲：今月末の6月30日までに対応する。

●：承認。

【その他】

●：スクールバスの導入によって、路線バスと競合してしまい、路線バスの存続が厳しくなるという状況が増えている。文部科学省でもスクールバスの要件緩和の動きがある中で、学校の統廃合の話があった場合は、教育委員会と情報交換を行い、着地点を見つけてほしいと思う。教育委員会のみで検討してしまっているケースが多く、公共交通担当課が知らないという場合もある。

▲：情報交換は密に行っていきたいと考えている。

●：実際の契約行為はPTAが行っている場合が多く、県の教育委員会も強く言えないという事情がある。

▲：「常総市と筑波大学との共同研究の都市調査研究グランプリにおける最優秀賞の受賞について」、
「高齢者外出支援事業の実績について」、
「読売新聞への投書について」説明。

◆：1点目については、筑波大学として教育の材料として活用させて頂いていますので、この場を借りて御礼申し上げます。2点目については、一月あたりではなく、一日あたりに直してもらうとより傾向が分かると思うので、ぜひ直してみしてほしい。

閉会 午前11:15